

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 日光森林管理署
所在地	栃木県 日光市
面積	12.98ha
設定年	1987(S62)年
保護林の概要 (設定目的)	高齢級のカラマツが生育する原生林に準ずる森林で、学術上及び森林施業上の考証として、また、遺伝資源の確保上貴重である。このため、高齢級カラマツの生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2007年、2012年、2017年、2018年、2022年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、カラマツが生育する林分計2箇所のプロットの樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	森林調査について、ニホンジカによる林床植生への被害が著しく、次世代を担うカラマツは確認されなかったが、生育しているカラマツについては概ね健全に生育していた。 前回調査と比較し、植被率に変化は見られないプロットもあるが、シロヨメナが占める割合が増えており、ニホンジカによる被害を継続的に受けていることがわかる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。